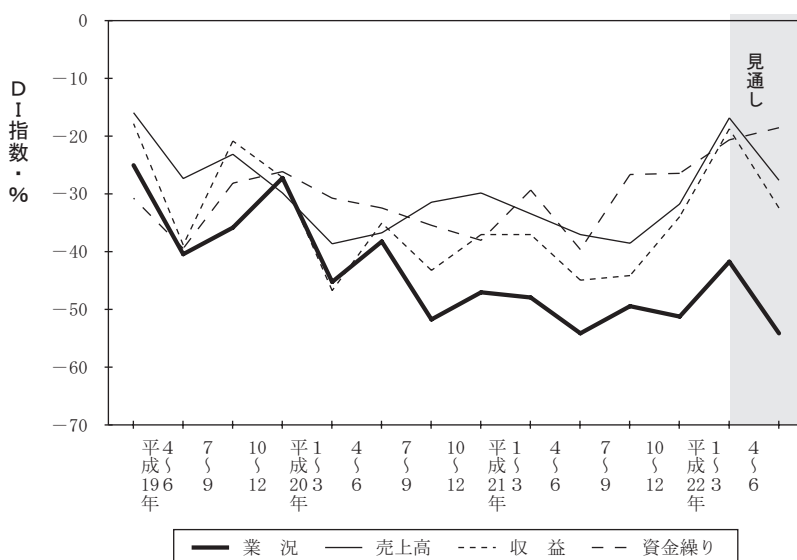


* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、情報サービス・調査・広告業が大きく悪化傾向を強め、自動車整備・駐車場業でも悪化傾向を強めました。一方、旅館・その他の宿泊所業、洗濯・理容・浴場業、娯楽業、その他サービス業は悪化傾向を弱めました。全体的には-42と9ポイント悪化傾向を弱め改善となりました。売上額、収益はともに15ポイント悪化傾向を弱め改善となりました。価格面では、料金価格は8ポイント下降傾向を弱め、材料価格は2ポイント上昇傾向を強めました。資金繰りは6ポイント悪化傾向を弱めました。残業時間は9ポイント減少傾向を弱め、人手は9ポイント下降し、減少傾向に転じました。設備の状況は7ポイント不足感を強め、設備投資については、機械設備の更改を中心に31%と、前期に比べ10ポイント増加しました。

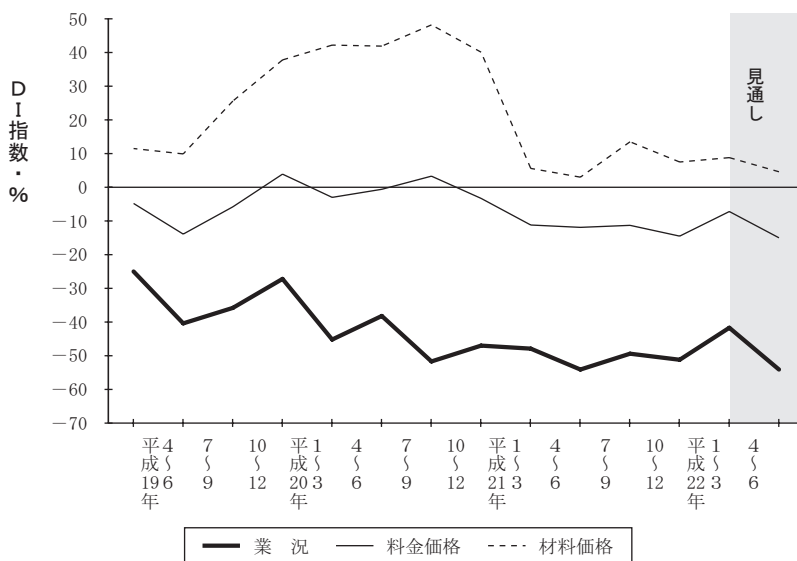
景況の推移



来期の見通し

業況は、洗濯・理容・浴場業は今期同様、悪化傾向を弱めるとみています。情報サービス・調査・広告業は横ばい、その他のサービス業で悪化傾向を強めるとみています。全体的には-54と12ポイント悪化傾向を強めるとみています。売上額は11ポイント、収益は14ポイント悪化傾向を強めるとみています。価格面では、料金価格は8ポイント下降傾向を強め、材料価格は4ポイント上昇傾向を弱めそうです。資金繰りは2ポイント窮屈感が弱まるとみています。残業時間は10ポイント減少傾向を強め、人手は2ポイント不足感が弱まりそうです。設備の状況は4ポイント不足感が弱まり、設備投資については機械設備の更改を中心に29%の先が実施予定とし、今期に比べ2ポイント減少するとみています。

主な指標の動き

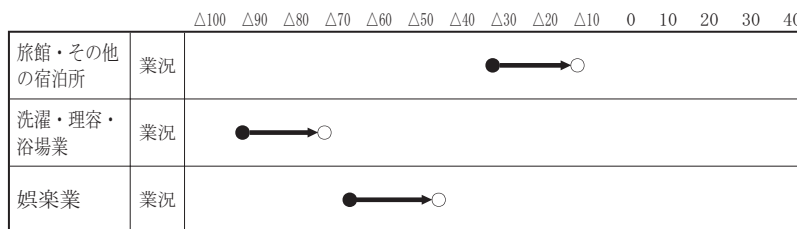


調査員のコメント

- 売上額はやや増加しているが、収益面は変わらず現状維持の状態である。重点経営施策として、経費の節約を上げており、経費の削減に力を入れていく。
(写真撮影・DP・全般)
- 業況は安定し、地域での存在感が強く、今後も安定した経営は続きそうである。(葬祭業)

業種別業況判断DIの推移

今期(22年1月~3月) / 前期(21年10月~12月)



経営上の問題点	1位	売上の停滞・減少(1)	63%
	2位	同業者間の競争の激化(2)	48%
	3位	利幅の縮小(3)	24%
	店舗・設備の狭小・老朽化(5)	24%	

当面の重点経営施策	1位	経費を節減する(1)	68%
	2位	販路を広げる(2)	40%
	3位	教育訓練を強化する(4)	27%

*()は前回順位